

地域安全ニュース

池田地区防犯協会
池田警察署 572-0110
みんなでつくろう
安心の街

知っておこう悪質な手口

架空請求詐欺は、実際に利用していないのに、ハガキで「代金未納で連絡がなければ訴訟を起こす」、メールで「サービス利用料金やサイト登録料金が未納なので連絡がほしい」等と通知を受け、記載の連絡先に連絡してしまうことで、いわれのない代金を請求されてお金をだまし取られる詐欺です。

詐欺師は「記録がある」「訴訟を起こします」等と強気で話してくるので、不安になって支払いをしてしまいます。

詐欺師はその後、同じ相手に何度も「ほかにも費用がかかった」等と要求してきます。昨年はこの手口で多額の詐欺被害が発生していますが、被害者は決して高齢者ばかりではないので注意しましょう。

トラブルを回避するポイント

無視が基本？ 決して連絡をしない

- ① 反応をしないで無視をする
- ② 決して相手に連絡しない
- ③ 不安なときは、家族、親せき、友人、警察に相談する。消費者生活センターへ相談するのも良いでしょう。(連絡先等は、「消費者ホットライン188番で教えてもらえます」)

あわてて連絡してしまうと、口がうまい詐欺師に個人情報やウソの内容で不安をあおられたりして、どうしても動揺させられてしまいます。かえって詐欺師の思うつぽになります。絶対に連絡しないようにしましょう。

後を絶たない悪質な手口

オレオレ詐欺、架空請求詐欺、還付金詐欺等の特殊詐欺や点検商法、送りつけ商法、といった悪質商法の手口は年々多種多様化しています。特に高齢者が狙われる傾向にあり、詐欺師や悪質業者等は、高齢者の年金や貯蓄を狙ってきます。時には脅しを交えて、時には親切を装って、言葉巧みに大金をだまし取ろうと企んでいますので注意が必要です。

こんな手口に注意！ 具体例と対策

◎住宅や水道管等の点検商法

対策：ドアにカギを掛けたままドア越しで要件を確認し、キッパリと断りましょう。

◎送りつけ商法

対策：荷物が送られてきても「心当たりがないから受け取れない」と宅配業者に伝えて拒否しましょう。
※断っても帰らない場合など、お困りのときは、その場で警察に連絡してください。

はるにれ

～みんなで築こう 安全で安心な大地～
http://www.ikedaya-police.pref.hokkaido.jp

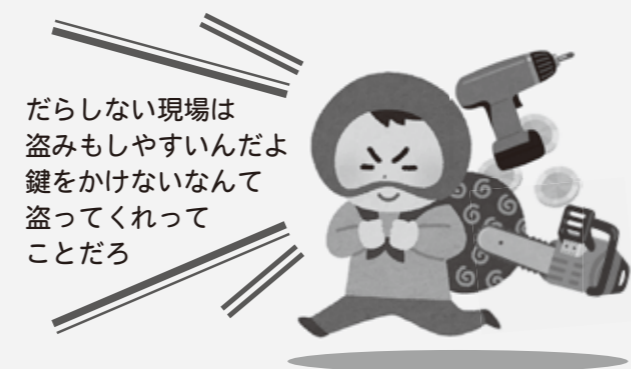
池田警察署 572-0110
茂岩駐在所 574-2013
豊頃駐在所 574-2151
大津駐在所 575-2002

工具盗難が連続発生しています

池田警察署管内で、工具類を狙った窃盗事件が連続発生しています。被害にあわないために、次の点に注意しましょう。

- 工具は施錠設備のあるロッカー内に保管しましょう
- 整理整頓を心がけ、工具類を適切に管理しましょう

まずは、盗まれにくい環境づくりから…



だらしない現場は
盗みもしやすいんだよ
鍵をかけないなんて
盗ってくれって
ことだろ

融雪期の事故防止

寒暖の差が大きくなり、氷のようになった屋根の雪が落ちてきて下敷きになったり、屋根の雪下ろし中の転落によって、命をおとすなどの事故が発生するおそれがあります。

このような事故を防ぐために、次のことに注意しましょう。



- 屋根の雪は早めにおろしましょう
- 雪下ろしは転落防止の措置を講じ、複数人で行いましょう
- 落水雪のおそれのある軒下を歩かないようにしましょう

平成30年度地域安全・少年非行防止標語コンクール

『地域安全部門』（小学生の部）

入賞 その電話 だまされなくて詐欺被害 平間文乃さん（豊頃小6年）
入賞 大丈夫 そんな気持ちで命取り 永原乙葉さん（豊頃小5年）
入賞 だいじょうぶ？ 歩きスマホは危険だよ 谷川樟さん（浦幌小6年）

『地域安全部門』（中学生の部）

金賞 気をつけて心のゆらみが事故おこす 東野千夢さん（豊頃中3年）
銀賞 鍵かけた？ 出かける前の合言葉 遠藤令菜さん（豊頃中3年）
銅賞 ちょっとまで 電話の向こう オレはダレ 末永楓花さん（豊頃中2年）

Toyokoro Letter



地域づくり推進員
鎌本真理から
「とよころ」のステキを
紹介します。

『豊頃町体験モニターツアー』を開催しました！



平成31年2月8日～10日に、関西・関東・札幌から12名の参加者を迎え、「豊頃町体験モニターツアー」を開催し、無事に終了しました。



豊頃町は、観光資源が乏しく着地型観光の開発が必要な地域と言われており、今すぐに大人数を受け入れることは難しいですが、少人数でもこのツアーに参加してもらい豊頃町を知り・人と交流し・この町を好きになる、そんな人を少しずつでも増やしていきたいと考えました。数年後・数十年後になるかもしれませんが、モニターツアーがきっかけで「移住者増加」という効果が得られればという考えのもとです。また、この活動をとおして町民が集い、交流が生まれ、活気が戻ればという想いがあります。

今回、モニターツアー参加者が体験したメニューは、一次産業を身近に感じてもらうと搾乳作業や農業機械の見学、魚捌き方体験やジュエリーアイス鑑賞などを盛り込みました。また、十数年前まで行われていた「ほっかほか祭り」を小さくした規模で再

現した冬のアクティビティを開催し、活気復活のきっかけを探ることができました。「童心に返り、楽しめた♪」と言ってもらえたのはとても嬉しい一言でした。



大寒波到来で一時は、どうなることかと思いましたが、その寒波もいつの間にかこの旅の楽しみのエピソードになったようで、なかなか体験できない-26℃の世界でした。夜の交流会では「この地域の為にどんな事ができるか…」、「豊頃町の魅力をどう発信できるか」など参加者と豊頃団志が一緒になって話をする事ができ、地域創生について話し合えたのはいい経験となりました。

町づくりを担う「豊頃団志」など、町民中心で企画運営した手作りツアーだからこそ、地域の人と交流しながら「人と人の関係性を大切に」そんな旅が提供できたのではないのでしょうか。町民総勢50名のご協力が無ければ今回のツアーは成し遂げられなかったと思います。本当に皆様ありがとうございました！食材を無料でご提供いただきました方々、本当にありがとうございました！参加者の感動に繋がって、豊頃町の魅力を発揮する要素になったと感じています。



Facebookにて「ToyokoroLetter」を運営中
お気軽にフォローよろしくお願ひします♪